



おおにしだより

第32号

平成26年 2月13日
発行所：栃木市立大平西小学校校長室

先生は、よいところを認め、やってはいけないことを指導してくれる。

前号の「保護者アンケート」に続き、「児童アンケート」の集計結果をご報告いたします。

本校の児童一人一人が、毎日の生活を振り返って、アンケートに答えてくれました。学校では、今回の結果をもとに全教職員で話し合い共通理解を図りました。

今後は、本校児童のよいところは一層伸ばし、直すべきところは、より一層の改善を図るとともに、次年度の学校運営に役立ててまいりたいと考えます。

【児童アンケート集計結果】

番号	項 目	結果(%)	保護者結果
1	先生は、授業を熱心に行い、わからないところをていねいに教えてくれる。	96→	
2	先生は、わたしたちのことを考え、声をかけてくれたり話を聞いてくれたりする。	96→	
3	先生は、いじめがないようにしっかり指導してくれる。〈新〉	97	89
4	先生は、よいところを認め、やってはいけないことをしっかり指導してくれる。	98→	90↑
5	わたしは、学校が楽しい。	94↓	
6	わたしは、清掃をがんばっている。	92↓	
7	わたしは、あいさつをしている。	89↓	84↑
8	わたしは、きちんとした言葉づかいや返事をしている。	82→	72→
9	わたしは、当番や係の仕事をがんばったり、きまりを守ったりしている。	89→	84→
10	わたしは、思いやりの心もち、いじめのないように努力している。	89→	94→
11	わたしは、給食を好き嫌いなく食べている。	78→	69↓
12	わたしは、業間や休み時間などによく運動をしている。	75→	78→
13	わたしは、けがをしないように気をつけたり、交通ルールを守ったりしている。	92↓	
14	わたしは、授業中進んで手をあげ、自分の考えを大きな声で発表している。	60↓	63↓
15	わたしは、先生や友だちの話をよく聞き、前向きに学習している。	83↓	
16	わたしは、授業がよくわかって勉強が楽しい。	85→	
17	わたしは、毎日家庭学習をしている。	70↓	62↓
18	わたしは、進んで読書をしている。	76→	
19	わたしは、地域や家の人、お年寄りのみなさんとの活動が楽しい。	90↓	94→
20	わたしは、なかよしグループやなかよしタイムの活動が楽しい。	92→	96→

◎ 結果は4段階の「1とても思う」と「2少し思う」の計(%)を示してあります。昨年度との比較で3%以上の差が見られるものは、↑↓等で示しました。また、参考までに保護者評価結果も載せました。なお、斜線のところは該当する項目がないものです。

《アンケート結果から》

- ①最も評価の高かった項目は、4「先生は、よいところを認め、やってはいけないことをしっかり指導してくれる」でした。次いで、3「いじめがないようにしっかり指導してくれる」、2「わたしたちのことを考え、声をかけてくれたり話を聞いてくれたりする」も高い評価となりました。児童と教師の良好な関係が伺われます。特に、教育相談等で教師が親身になって相談に応じたり、児童の悩みに耳を傾けたりする努力を続けてきた成果ではないかと考えます。
- ②1「授業を熱心に行い、ていねいに教えてくれる」も、昨年同様に高い評価でした。教師がわかる授業を目指し、学習指導方法の工夫改善に努めていることが伺われます。
- ③5「学校が楽しい」、20「なかよしグループやなかよしタイムの活動が楽しい」と感じている児童が大変多く、生き生きと学校生活を送っていることがわかります。
- ④一方、14「進んで手をあげ、自分の考えを発表」は、最も低い評価でした。発表することに自信をもたせることや、何でも話すことができる学級づくりも重要であると考えます。本校の学校課題研究として表現力育成に取り組んでいますが、今後もさらに力を入れて指導していきたいと考えます。
- ⑤17「家庭学習をする」では、13%の児童が「できない」と答えています。保護者アンケート結果でも最も低い結果となり、保護者・児童ともに不十分であると感じているようです。家庭学習については、今後も学校で働きかけをしたり、各家庭でのご指導をいただいたりしながら、学習面のよい習慣を身に付けさせたいと思います。ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- ⑥12「業間や休み時間などによく運動をしている」も低い評価でした。これは、教職員の評価と共通しています。今後は、業間や休み時間を有効に活用し、児童が積極的に運動に親しむことができ

るように指導してまいりたいと考えます。

- ⑦ 7「あいさつをしている」では、昨年度より3ポイント低い結果となりました。一方、保護者アンケート結果では昨年度より4ポイント高い結果でした。学校では、『最高のあいさつ』（「大きい声で」「自分から進んで」「相手の目をきちんと見て」「笑顔で」）ができるように指導しております。私は毎朝校門で立哨指導をしておりますが、3学期になってからは、『最高のあいさつ』ができるようになった児童が増えてきたように感じております。今後も、学校生活の中だけでなく、地域でのあいさつができるように、指導してまいりたいと考えます。ご家庭でも、お子さんを励ましていただければ幸いです。

活力に満ちた楽しい学校・家庭や地域から信頼される学校に！！

学校関係者評価を参考に、改善に努めてまいります

学校評議員会は、地域や社会に開かれた学校づくりを一層推進し、学校が家庭や地域と連携協力しながら、特色ある教育活動を展開するため、保護者や地域の方々の意見を幅広く校長が聞くためのものです。本年度は、学校評議員会を5回開催し、テーマに基づいて話し合いを行いました。毎回、貴重なご意見やご助言をたくさんいただくことができ、会の目的を十分に達成することができました。

学校評議員の皆様のご支援に深く感謝いたします。一年間、本当にありがとうございました。

- ☆ 堀 暁夫 （子どもを守る会）
- ☆ 石川 貞夫 （前西山田第1自治会長）
- ☆ 富田 カツ （民生委員）
- ☆ 戸井田光江 （学校支援ボランティア地域コーディネーター）
- ☆ 畠山ゆかり （元PTA会長）

【敬称略】

第5回学校評議員会 平成26年1月22日（水）10：00～12：15

◎授業参観 ◎学校関係者評価 ◎本年度の反省と次年度の課題

今回は、教職員による自己評価結果及び保護者・児童アンケート結果をもとに、「学校関係者評価（学校評議員・PTA代表）」を行い様々なご意見をいただきました。その主なものをご紹介します。



校庭で雪遊び

1 教職員による学校評価結果に対する意見

- ・開かれた学校、いじめ防止、豊かな人間関係の3項目で100%と、評価が高かったことは大変うれしく思います。
- ・教職員の自己評価は、少し謙遜しているように思います。
- ・基本的な生活習慣の評価が低かったようです。やはり、家庭との連携が必要だと思います。
- ・あいさつが不十分との評価ですが、児童は廊下などでよくあいさつできていると思います。
- ・地域の自然や人との関わりを大切にしています。また、安全安心に心掛けたり、いじめの問題にも気をつけているのは大変良いことと思います。

2 情報収集のための保護者・児童アンケート結果に対する意見

- ・設問1～5まで、教職員と児童の心意気がピッタリでうれしく思います。その結果が、13交通ルール、19地域との交流、20異学年交流等の高い評価に表れているように感じます。
- ・設問1・2の児童の結果を見ると、「自分たちのことを先生がよく考えてくれている」と感じている子がたくさんいることに感動しました。
- ・保護者の評価では、「あいさつができていない」という意見がありました。あいさつしてくれる子としてくれない子がいるので、学校・家庭・地域が協力し合い指導していければと思います。
- ・なんといっても家庭での躾が大事です。子どもたちも、返事ができないことを認識しているようですので、学校でよく話し合っていただきたいと思います。
- ・児童アンケートで「進んで自分の意見を述べる」が「あまり思わない」「思わない」の回答が多いので、学校で更なる指導をお願いします。
- ・家庭と協力した教育活動、情報の発信、行事、仲良しグループの活動などは高い評価を得ていると思います。
- ・親子レクが負担になっているような意見がありました。学年の先生方で話し合い、時期が重ならないように工夫していただければと思います。
- ・行事が多すぎるという意見があることに驚いています。今後検討していかなければと思います。

3 学校経営全般に対する意見

- ・学校周辺の住環境が刻々と変わっていく中、児童数の増加が懸念されます。このままだと、教室が不足してしまわないか心配です。行政との検討を早めをお願いします。
- ・心豊かでやさしい子、考える子、強い子を育てていただいています。子どもが、よく勉強し、遊べる学校、通わせたくなる良い学校です。
- ・目標や目的をたくさん並べるのではなく、重点的に簡潔に繰り返し行うことが大切です。
- ・授業参観では、保護者と一緒にパソコンの学習を行っていました。素晴らしいと思いました。
- ・1年生は大変だと思いますが、春の運動会を検討してみてもどうでしょうか。
- ・学校は避難所になり得るので、校庭に車の乗り入れを検討してほしいと思います。